



## シャーシコンポーネントの交換

- [Cisco 8100 シリーズルータのファンモジュールの交換 \(1 ページ\)](#)
- [電源装置の交換 \(5 ページ\)](#)

### Cisco 8100 シリーズルータのファンモジュールの交換

ファンモジュールは、システムの動作中に取り外しや交換を行っても、電気事故が発生したりシステムが損傷したりすることがないように設計されています。この作業を実行する前に、交換用ファンモジュールを準備しておいてください。

ルータは、次のタイプのファンモジュールをサポートしています。

表 1:

ルータ	モジュール	PID
Cisco 8102-64H-O	ポート側吸気	FAN-2RU-PI-V2
	ポート側排気	FAN-2RU-PE-V2
Cisco 8101-32H-O	ポート側吸気	FAN-1RU-PI-V2
	ポート側排気	FAN-1RU-PE-V2
Cisco 8111-32EH-O	ポート側吸気	FAN-1RU-PI-V2
Cisco 8122-64EH-O	ポート側吸気	
	ポート側排気	

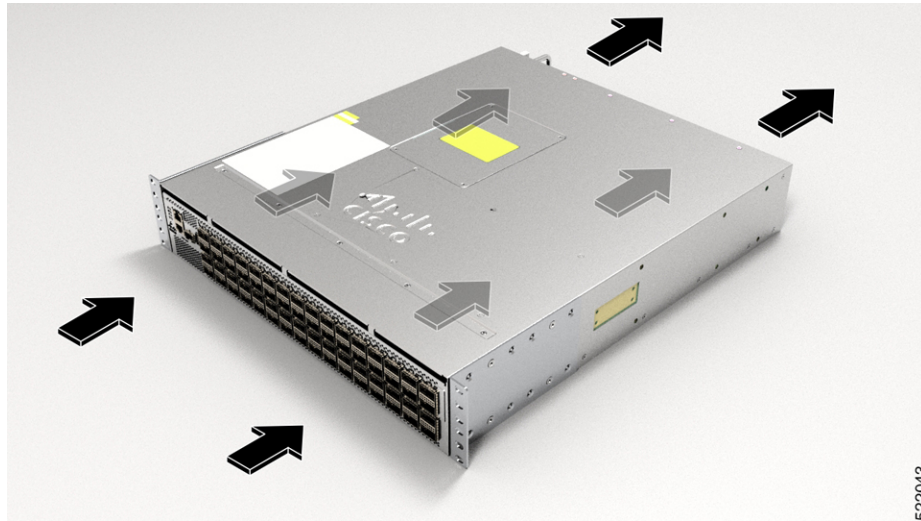


(注) Cisco 8111-32EH-O ルータでは、ポート側排気構成はサポートされていません。



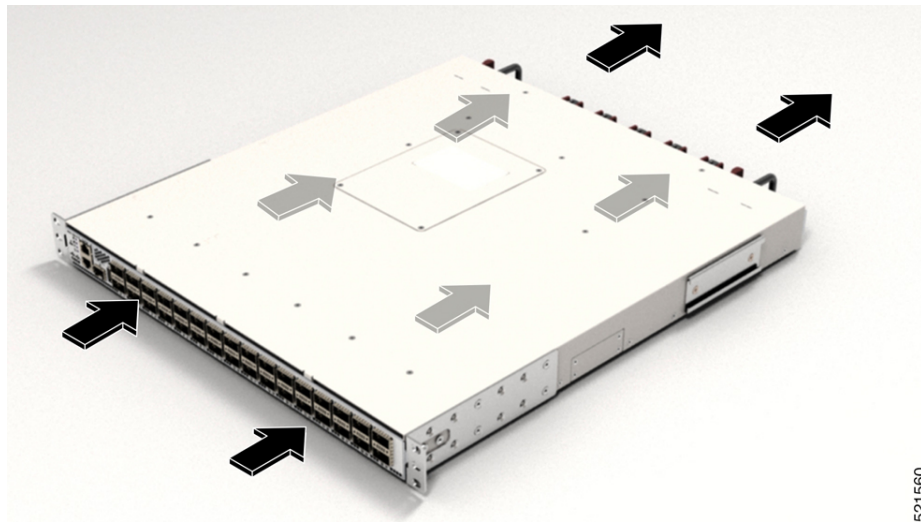
- (注) エアフロー方向は、シャーシ内のすべての電源およびファンモジュールで同じにする必要があります。必要なエアフローの方向に応じて、ファンのタイプを変更できます。変更後、電源も変更する必要があります。

図 1: Cisco 8102-64H-0 ルータのエアフローの方向



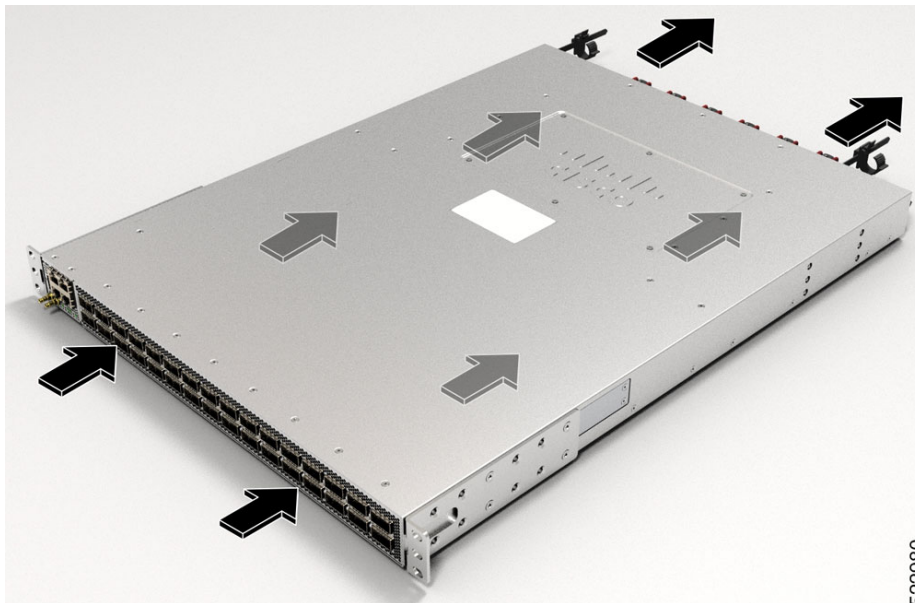
522043

図 2: Cisco 8101-32H-0 ルータのエアフローの方向



521560

図 3: Cisco 8111-32EH-0 ルータのエアフローの方向

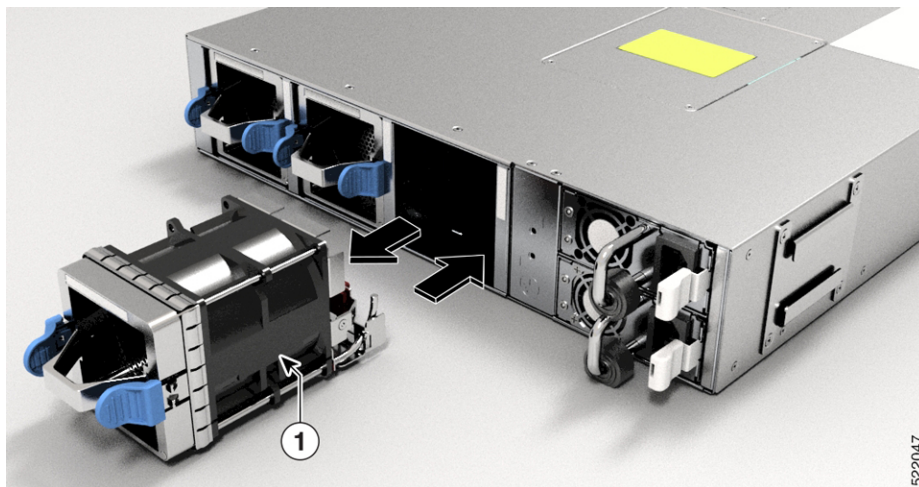


522980

**ステップ 1** ファン モジュールを取り外す手順は、次のとおりです。

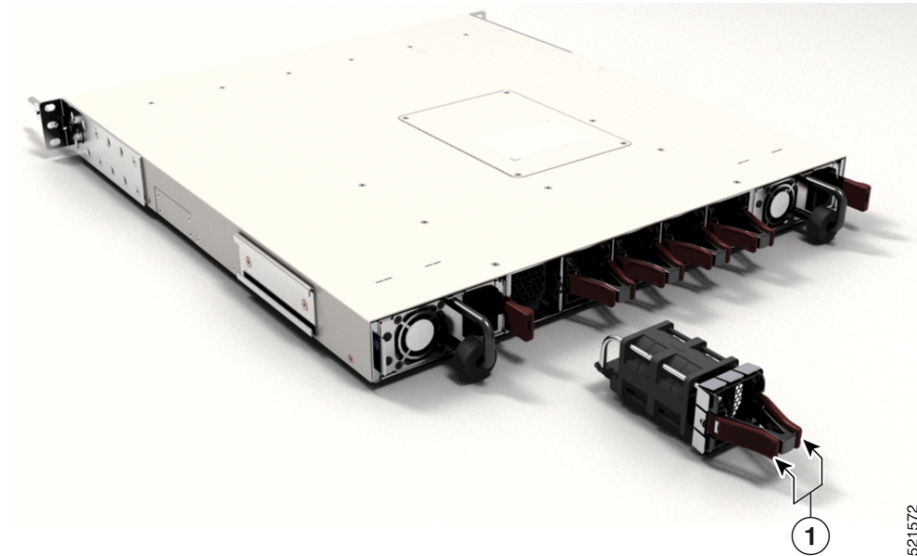
- a) ファンモジュールの 2 つのラッチを押して、ハンドルをつかみます。

図 4: Cisco 8102-64H-0 ルータ : ファンの取り外し



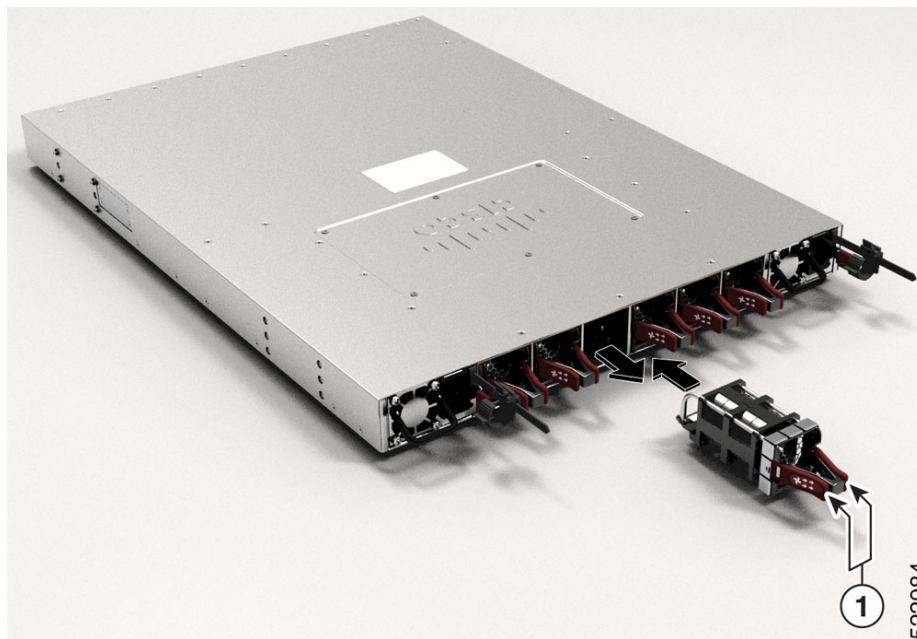
522047

図 5: Cisco 8101-32H-0 ルータ : ファンの取り外し



521572

図 6: Cisco 8111-32EH-0 ルータ : ファンの取り外し



522984

1	ラッチ付きファンモジュール
---	---------------

b) 同時にラッチを押しながらシャーシからファン モジュールを完全に引き出します。

**ステップ 2** ファン モジュールを取り付ける手順は、次のとおりです。

- a) LED を上にしてファンモジュールを持ちます。
- b) ファンモジュールをシャーシの空きファントレイスロットに合わせ、左右のラッチがカチッという音がしてシャーシにロックされるまで、モジュールをスロットに完全に押し込みます。



- (注) ファンモジュールがスロットに完全に入らない場合は、無理に押し込まないでください。ファンモジュールを取り出して、ご使用のルータに適切なタイプのファンモジュールであること、正しい向きになっていることを確認します。ファンのステータスと速度を確認するには、**show environment fan** コマンドを使用します。
- c) シャーシの電源を投入したら、ファンの動作音を確認します。ファンが動作する音がすぐに聞こえるはずですが、動作音が聞こえない場合、ファンモジュールがシャーシに完全に装着されていることを確認します。
- (注) ファンモジュールの交換中に他のファンは速度を調整し、新しいモジュールを適切に初期化できるようにします。新しいファンモジュールを挿入すると、ファンが数分間は低速または高速で動作する場合があります。
- d) ファンモジュールのLEDがグリーンに点灯していることを確認します。LEDが緑に点灯していない場合、1つまたは複数のファンに障害が発生しています。このような状況が発生した場合は、部品の交換についてカスタマーサービス担当者に連絡してください。

## 電源装置の交換



- (注) 固定ポートルータの両方の電源スロットに電源モジュールを取り付けることを推奨します。電源モジュールに障害が発生した場合は、新しい電源モジュールと交換するまで、障害が発生した電源モジュールをスロットに保持することを推奨します。この推奨事項を行うことにより、システムのエアーフローが悪影響を受けず、ルータとそのコンポーネントが過熱する可能性を回避します。

ルータに2つのPSUがある場合、PSUを別のタイプに交換（ACからDCまたはその反対、または2KWから3KWまたはその反対）するには、以下の手順を使用します。両方の電源スロットで使用されているPSUが同じタイプである場合のみ、ルータは正常に動作できます。あるタイプから別のタイプにPSUを交換しようとする、ルータが予期しない動作を示し、Cisco IOS XR ソフトウェアは、異なるタイプのPSUが存在するためにPID不一致アラームを発生させます。そのため、両方のスロットのPSUを同じタイプに交換する必要があります。

シャーシから取り外す前に、固定構成PDU（配電ユニット）の電源を必ずオフにしてください。

- ステップ1** 両方のPSUの電源がオンになっていることを確認します。
- ステップ2** 電源モジュールがACまたはDC回路に接続されている場合、回路ブレーカーまたはPDUで回路をオフにします。
- ステップ3** 交換が必要なPSUの電源ケーブルを外します。

(注) Saf-D-Grid 電源コード (AC または HVDC) または低電圧 DC 電源コードを電源から取り外すには、ラッチを押してから電源コードを引き抜きます。

**ステップ 4** タブを押し込んで PSU のラッチを解除してから、ハンドルを引いて PSU を引き出します。

(注) Cisco 8101-32H-O ルータおよび Cisco 8102-64H-O ルータでは、PSU の 1 つを取り外すと、次のファンモジュールのファン速度が非常に高くなります。

- FAN-1RU-PE-V2
- FAN-2RU-PE-V2

**ステップ 5** 新しい PSU を差し込みます。

(注) PSU がスロットに完全に入らない場合は、無理に押し込まないでください。PSU を取り出して、ご使用のルータに適切なタイプの PSU であること、正しい向きになっていることを確認します。

**ステップ 6** PSU ケーブルを接続します。電源モジュールが AC または DC 回路に接続されている場合、回路ブレーカーまたは PDU 電源で回路をオンにします。PSU LED の色が緑色になるまで待ちます。PSU を交換したら、**show environment power** コマンドを使用して電源を確認します。

**ステップ 7** 手順 1～6 を繰り返して、2 つ目のスロットの PSU を交換します。

図 7: Cisco 8102-64H-O ルータ : 電源装置の取り外し

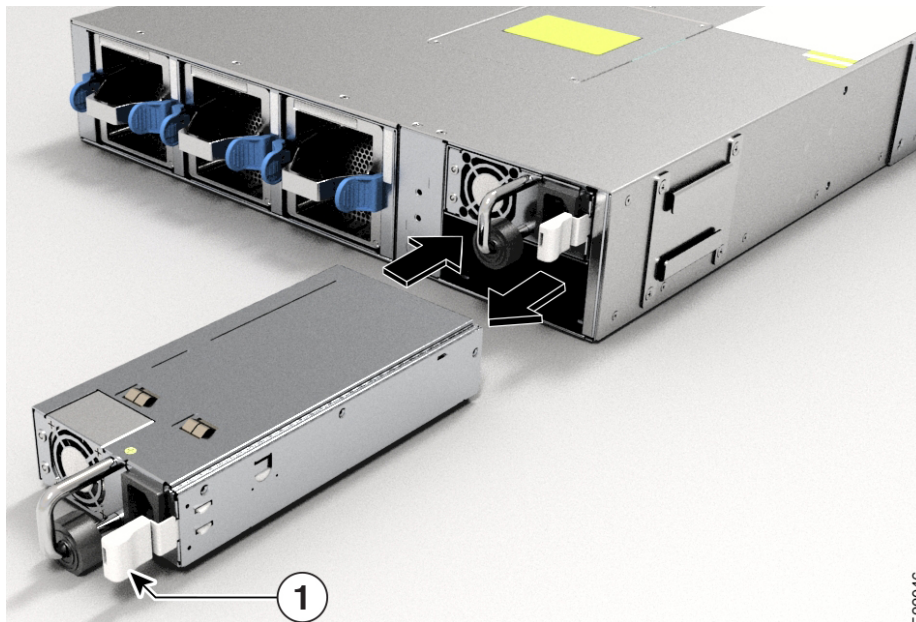


図 8 : Cisco 8101-32H-0 ルータ : 電源装置の取り外し

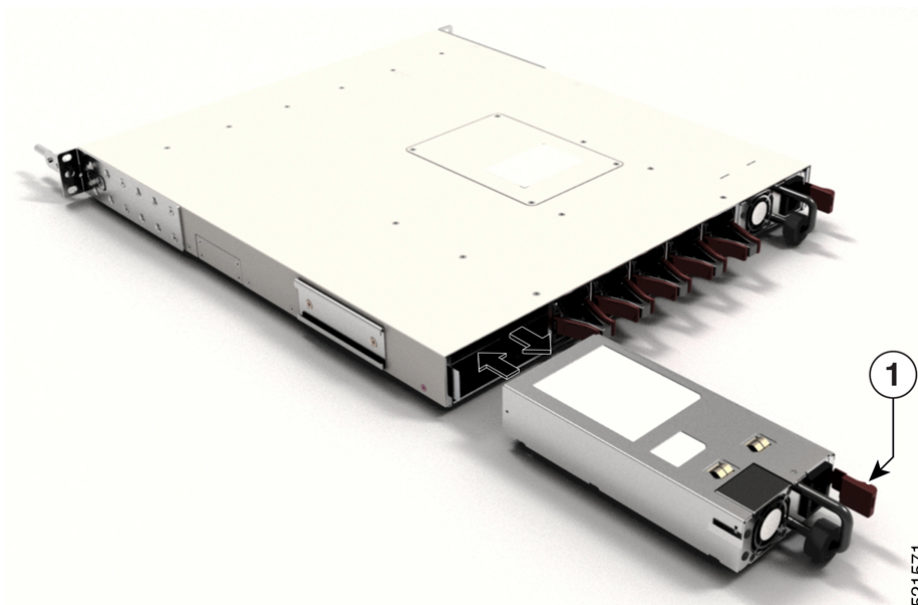


図 9 : Cisco 8111-32EH-0 ルータ : 電源装置の取り外し

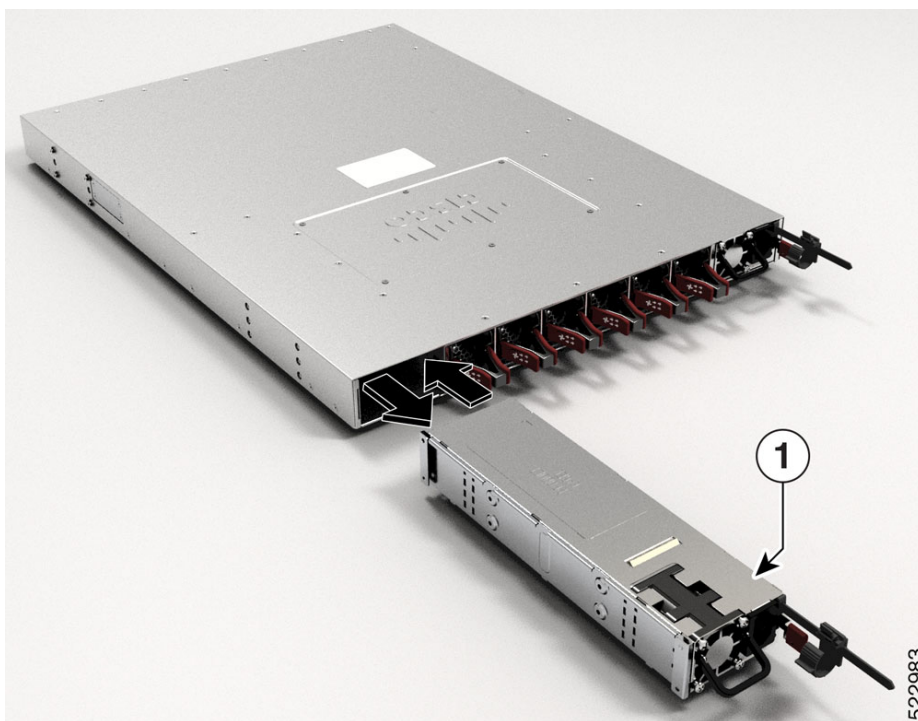
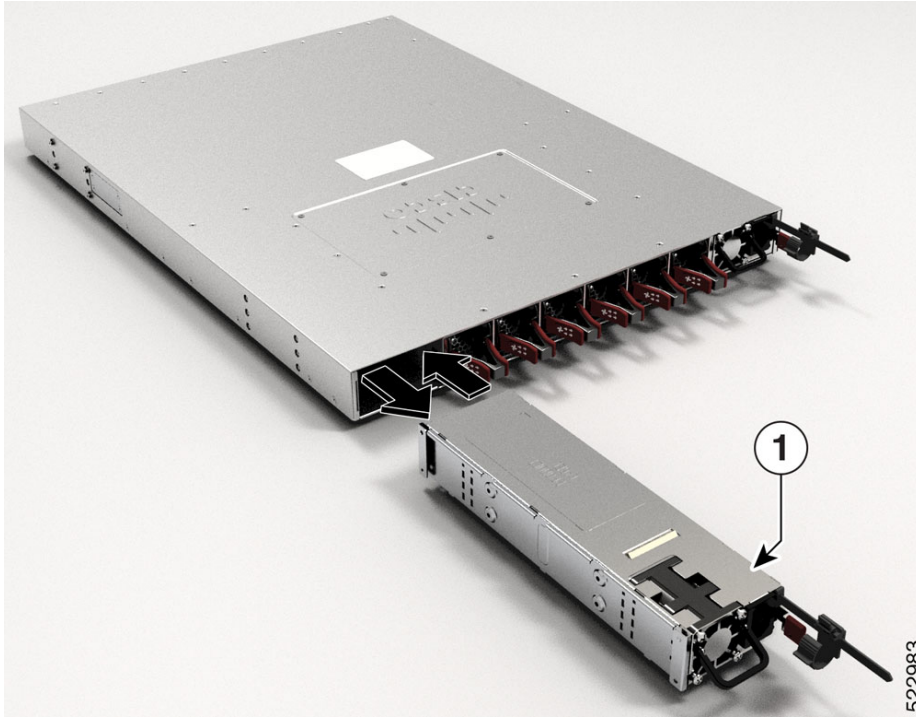


図 10 : Cisco 8122-64EH-O ルータ : 電源装置の取り外し



- |     |           |
|-----|-----------|
| [1] | 電源装置の取り外し |
|-----|-----------|



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。